

■ブレーキの交換作業について

ブレーキギャップの調整を行うことができるのは1回のみです。

ギャップ調整後、ディスクの摩耗によって、マグネットASSYとアーマチュア間のギャップが「■ブレーキ仕様」のギャップ限界値を超えた場合、ブレーキ交換となりますので、最寄りの当社営業所までお問い合わせください。

※ ブレーキ交換手順につきましては、新規ブレーキに同梱する交換手順書をご確認ください。

なお、お客様自身でのブレーキ交換作業に起因する不具合は当社保証範囲外となります。ご了承ください。

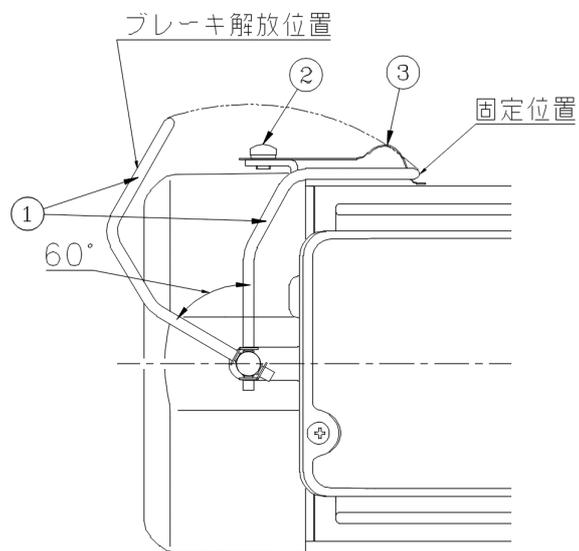
■クラッチ / ブレーキ付ギアモータのブレーキギャップの調整について

本製品のクラッチ及びブレーキには当社独自のオートギャップ機構が組み込んでありますので、摩耗によるギャップ調整は不要です。

■手動解放ブレーキの使用方法

- (1) ファンカバー上部のレバートメガネに取り付いている手動解放レバーをモータ後方へ、60°程度回転させ、ブレーキを解放します。
 - ※ 90°以上解放しないでください。
部品への干渉、もしくは解放しない場合があります。
 - ※ レバートメガネを押さえながら手動解放レバーを回転させてください。押さえず回転させると思わぬ怪我につながる恐れがあります。

- (2) 手動解放作業完了後は、必ず元の位置（固定位置）に戻してください。



■手動解放ブレーキ使用時の注意事項

- ・ 手動解放レバーの操作は、手で行ってください。
- ・ 手動解放レバーを持ってギアモータを運搬しないでください。
手動解放レバーが抜けてギアモータが落下するおそれがあります。

- ①手動解放レバー
- ②トメガネ用ネジ
- ③レバートメガネ

■警告ラベル

ブレーキ手動解放装置付ギアモータには、

ブレーキ手動解放装置の取扱いに関する注意事項を記載した「警告ラベル」がギアモータに貼り付けてあります。

「警告ラベル」がはがれていたり、読み取れなくなった場合は、速やかに最寄りの当社営業所までご連絡ください。